

## 業務の効率化を図り市民サービス向上へ 自治体専用ChatGPTを導入します！

市では、令和5年度に自治体DX推進の一環として、業務の効率化を目的としたChatGPTの活用の可能性に関してトライアルを実施するなど検証を行ってきました。

その結果、問題なく効果が期待できることから、自治体専用ChatGPTを導入し、利用を開始することを決定しました。

### 1 自治体専用ChatGPTについて

自治体専用ChatGPTとは、総合行政ネットワーク（LGWAN）上で利用できる大規模言語モデル（LLM）の生成AIで、通知や資料を作成する際の文章の添削や資料の要約、アイデアの創出など、これまで自治体職員が時間をかけて取り組んでいた業務の一部を、AIが回答を作成するサービスです。

### 2 導入効果

自治体専用ChatGPTを利用することで削減できる時間を、職員でなければならない業務に注力することができるため、市民サービスの向上に繋がります。

### 3 導入日

令和6年5月1日（水）

### 4 その他

検証では、情報セキュリティに配慮し、総合行政ネットワークの環境で利用が可能か、プロンプト（命令や質問）が学習されないか、個人情報のアラートやマスキングなどに対応しているかについて行った結果、問題がないことを確認しました。

また、自治体専用ChatGPT導入に先立ち、令和6年4月に、志木市生成AIの利用に関するガイドラインを策定し、個人情報や機密情報の利用禁止、ファクトチェックの実施など、職員が生成AIを利用するうえでのルールを定めました。

記者発表資料

令和6年4月30日

総合行政部デジタル推進課

担当者／課長 八木 征利

電話番号／048-473-1291

志木市